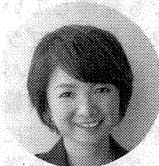


〈News〉

# 神前式をZoomでライブ配信

## フェアリー・テイル 地元の新聞2社からの取材も



代表取締役  
藤田徳子氏

ウェディングプロデュースのフェアリー・テイル(香川県高松市)は5月3日、史跡高松城跡玉藻公園披雲閣で神前式をプロデュースした。コロナの影響により参列できなかったゲストに、Zoomを用いたオンライン中継で式の様子を配信。当日の様子は四国新聞と読売新聞(香川版)にも掲載された。

3月からの半年間で受注していた30件の婚礼は延期や中止に。あわせて少人数ウェディングに変更するカップルもおり、数十名規模の列席者数マイナスの傾向も出ている。

5月3日の式には親族や友人も参列予定だったが、三密になるとのことから、新郎新婦と両家の両親合計6名での実施に変更。兄弟姉妹すら参加できず、食事会は中止となった。

「新郎新婦だけではなく、当日を楽しみにしていたゲストも残

念な気持ちになるのは当然でしょう。そこで挙式をオンラインで配信することをカップルに提案。当初は結婚式とオンラインがどう結びつくのか、新しい試みにまだピンときていないようでした。」(代表取締役・藤田徳子氏)

高齢者をはじめWebに慣れないゲストには、Zoomの設定方法などを前日までに連絡。固めの杯用の飲み物を各自用意してもらうことなど、神前式に参列する際の準備についても事前にアナウンスを入れた。

当日は窓や扉を開放した状態で、換気にも配慮。Zoomで県内外の20カ所30名を繋いだ。玉串礼拝の際は、オンライン参列者も二礼四拍手一礼の作法で合わせた。神前式の後は、新郎新婦と友人や親族が双方でメッセージを送りあった。

足が弱くもともと参列が難しいとされていた新婦の祖父は、「孫の綺麗な花嫁姿が見られて嬉しかった」と語り、新郎新婦も「画面上で繋がれる喜びを感じました。お祝いの言葉ももらって涙が溢れた」と笑顔を見せた。

「式後に祭主が、『離れた場所でも心が“密”



▲換気にも気を配り密を避けての開催

の結婚式だった」と語っていたのが印象的でした。コロナに関わらず、遠方など様々な理由から参列できないというケースも多い。音楽著作権は守りながら、今後も新しいセレモニーの形として式のWeb化に注力していきます。」(藤田氏)



▲画面越しのゲストとも記念撮影を